



Enterprise Architect 8.0 feature guide

by SparxSystems Japan

Enterprise Architect8.0 機能ガイド

(2010/4/16 最終更新)

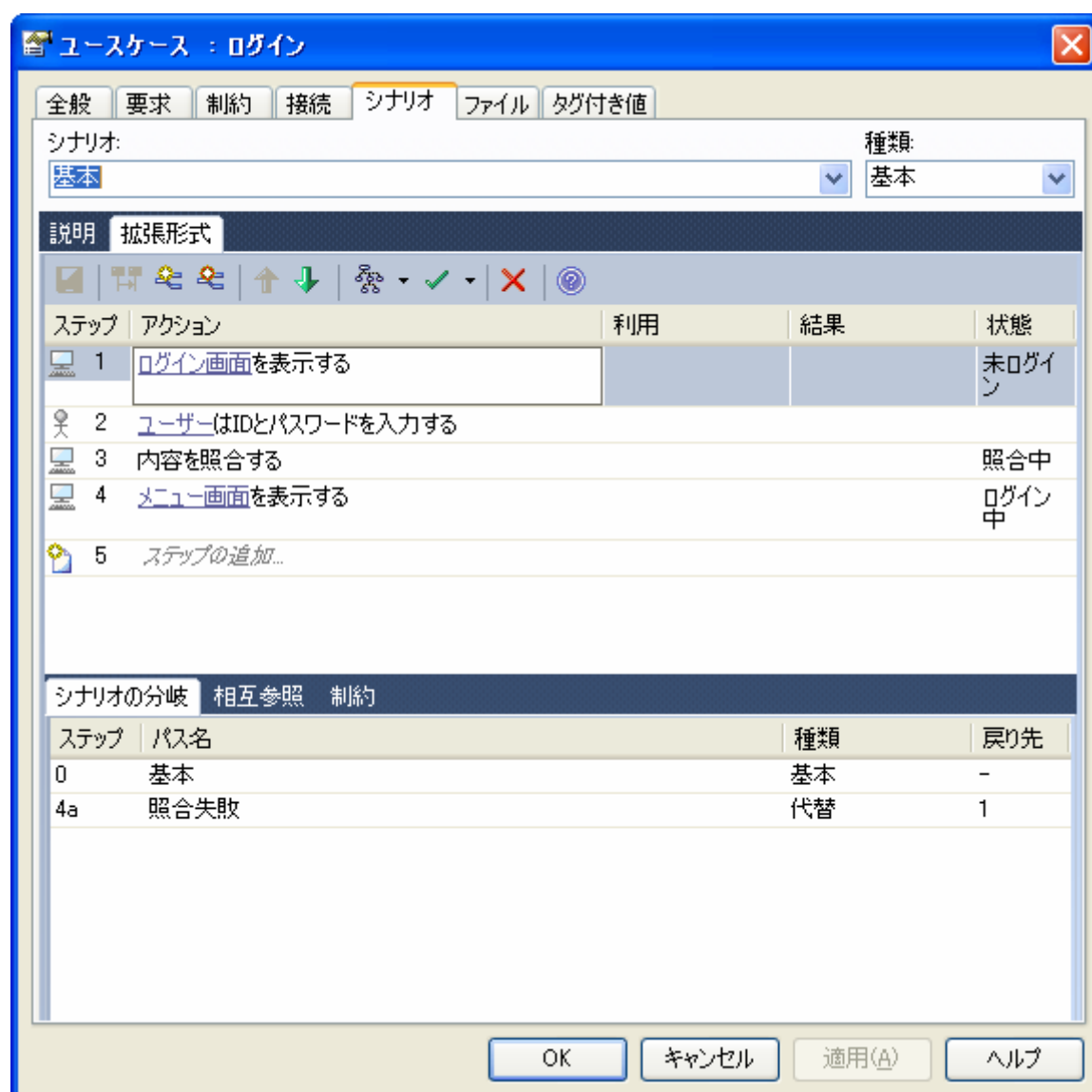


このドキュメントでは、Enterprise Architect8.0 で追加・改善される機能についてご紹介します。

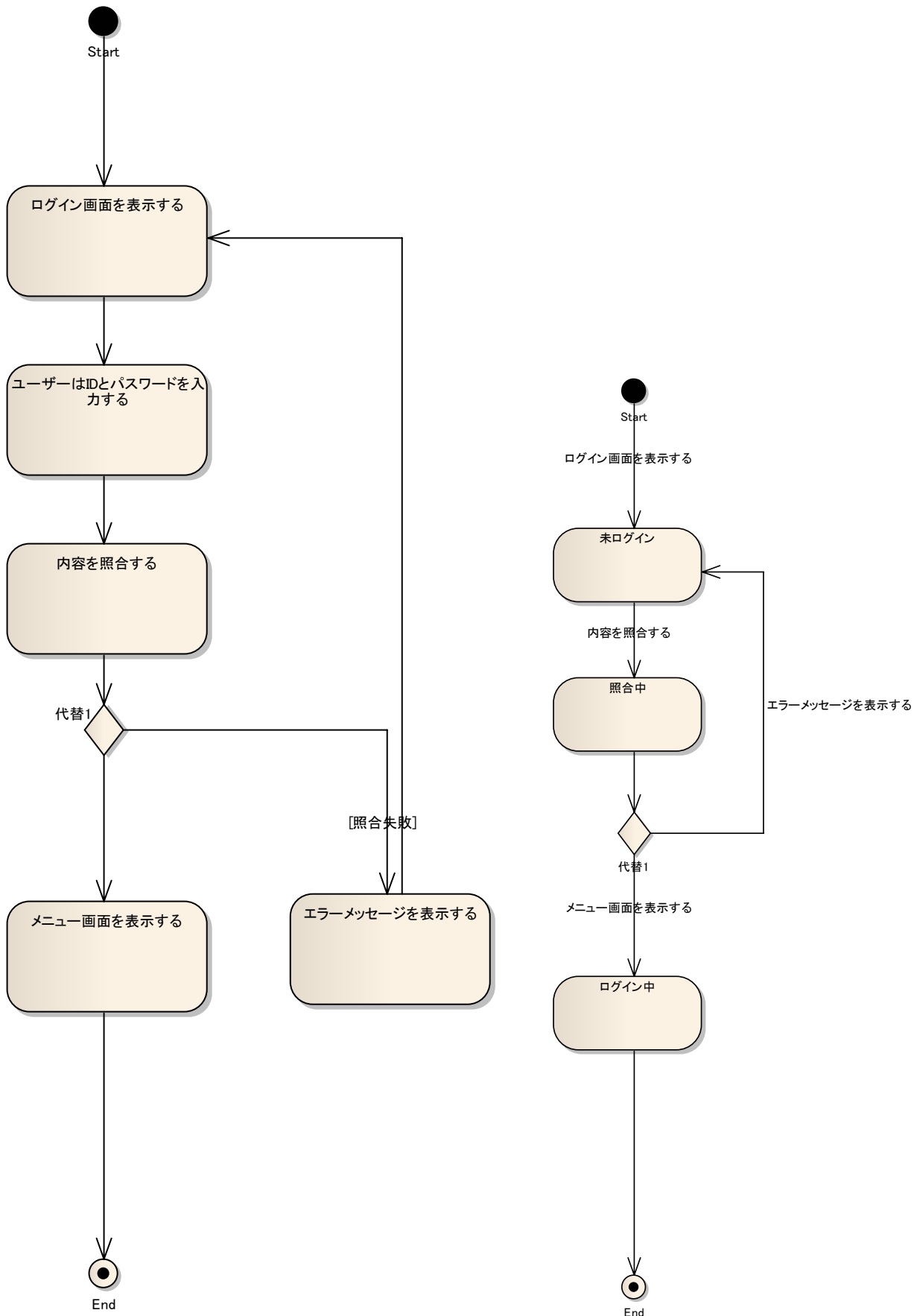
シナリオのエディタの改良

要素のプロパティ画面にある「シナリオ」タブの内容を強化し、ステップ(処理)ごとに内容を記述する形に対応しました。(従来の自由記述形式も利用できます。)

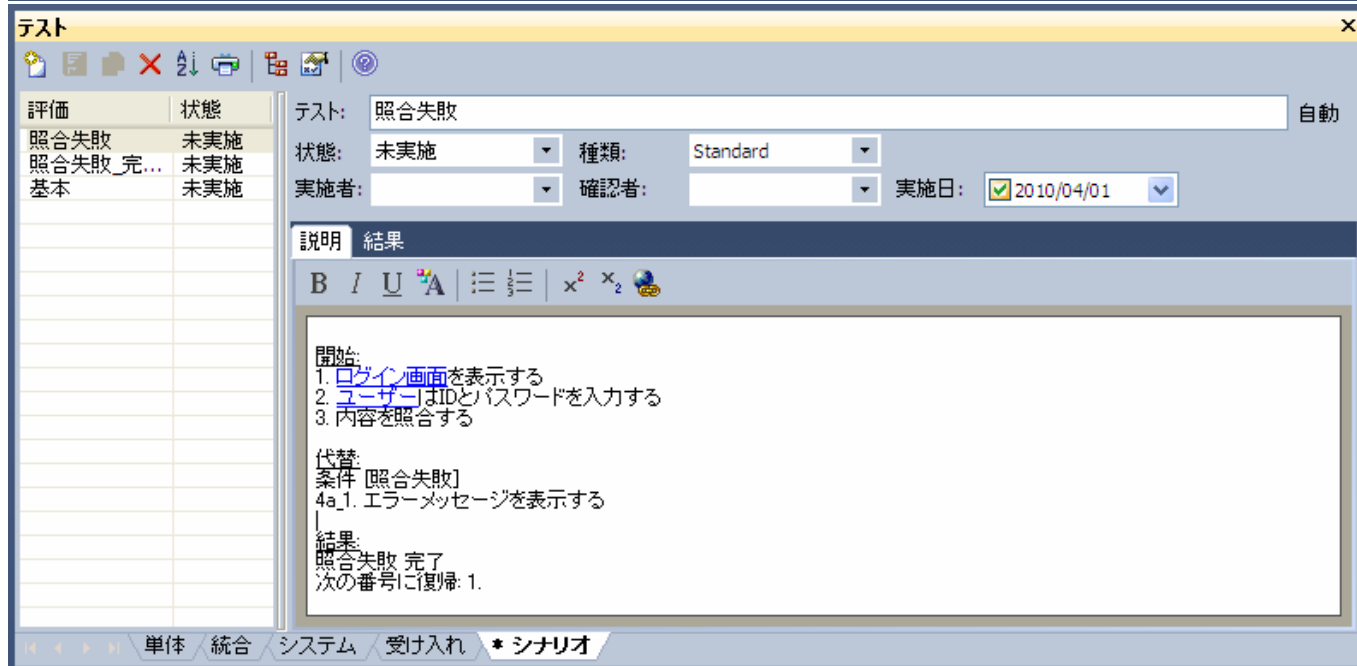
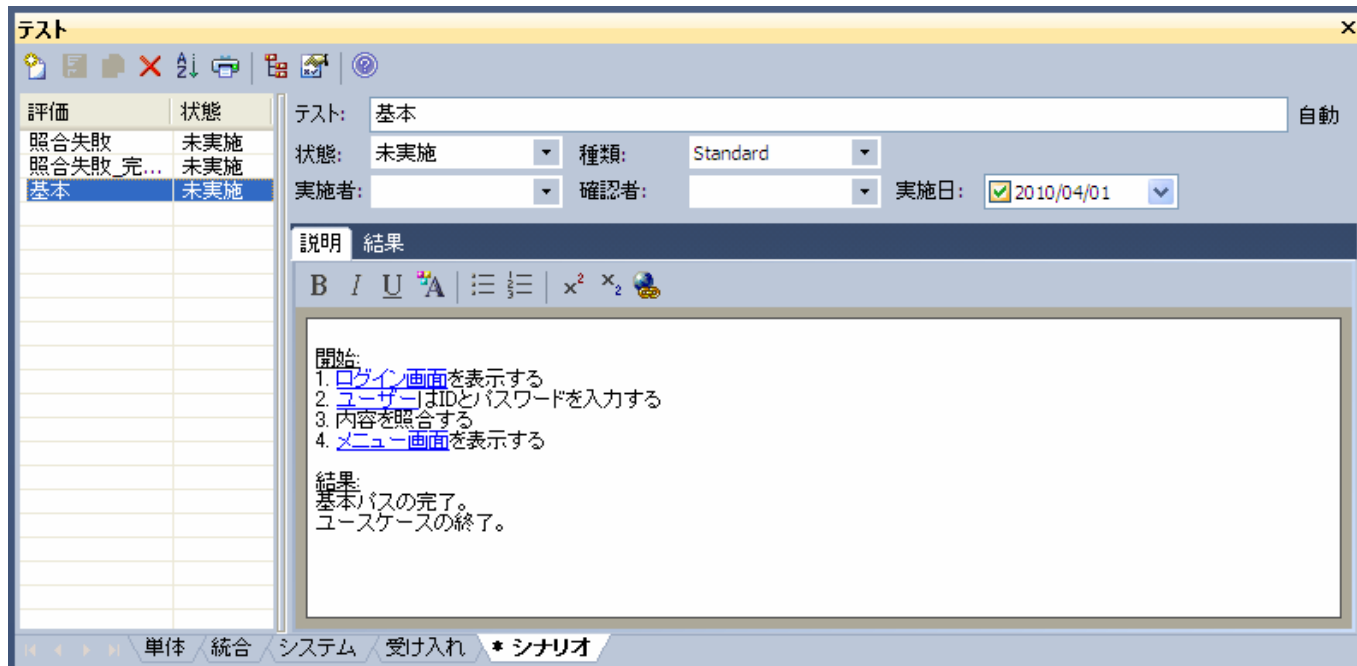
このエディタで作成した内容から、アクティビティ図・シーケンス図・ステートマシン図・ロバストネス図・ルールフローを自動生成できます。また、簡単なアクティビティ図を解析して、この形式のシナリオ情報を生成することもできます。



以下のダイアグラムは、上記の内容から自動生成した例です。(アクティビティ図とステートマシン図)



さらに、シナリオの内容から自動的にテスト項目を生成することができます。代替パスや例外パスがある場合には、その分のテスト項目が自動的に生成されます。以下はその例です。



ダイアグラムのフィルタ

条件を指定し、ダイアグラム内の要素を「フィルタ」することができます。フィルタした要素は、薄く表示したり、非表示にしたりできます。条件は独自に作成することができます。



(「本人確認」「照合」の2つのユースケース要素がフェード(薄い)表示になっています。)

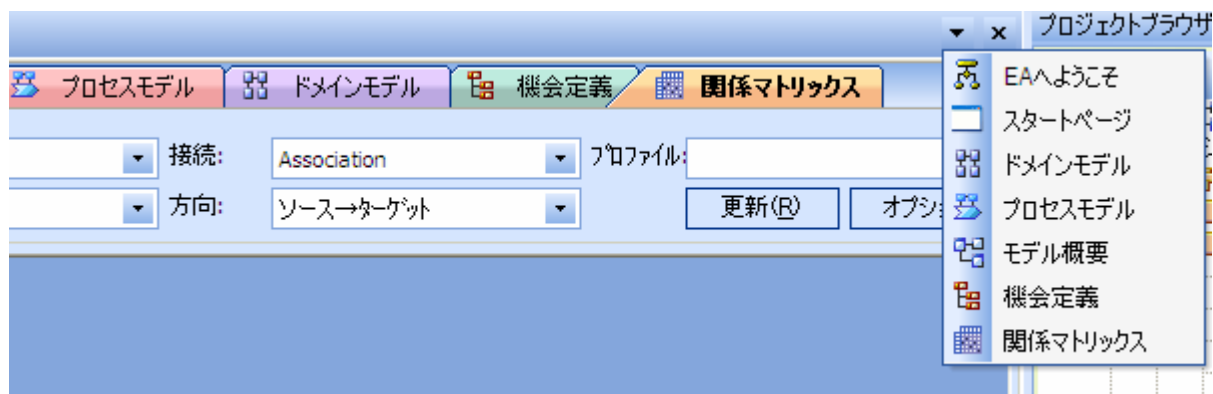
要素やパッケージのコピー・ペースト

プロジェクトブラウザ内の要素やパッケージを「コピー」し、別の EAP ファイルに「貼り付け」を行うことができるようになりました。

今までは XMI ファイルにパッケージの内容を出力し手読み込む作業が必要でしたが、バージョン 8.0 では Enterprise Architect を 2 つ起動し、コピー・貼り付けを行うことができますようになります。

ダイアグラムタブの改良

ダイアグラムのタブに、ダイアグラムの種類に応じたアイコンを表示するようになりました。また、タブを一覧で表示して選択できるようになりました。タブが多い場合に便利です。



ノート欄の改良

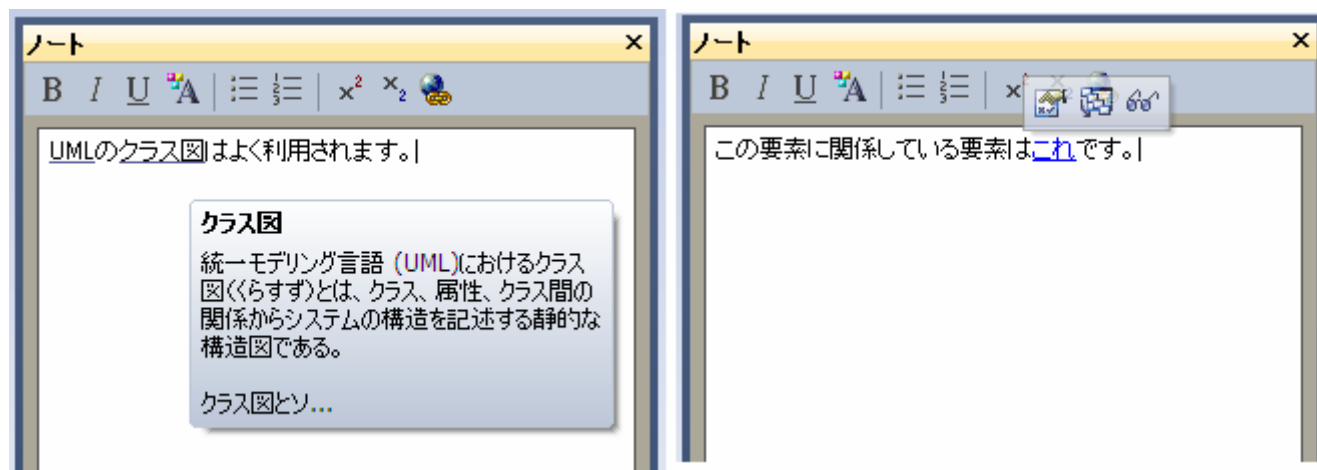
要素のプロパティ画面にある「ノート」の欄を改良し、以下の情報へのリンクを作成できるようになりました。

た。

- ・ 用語集の用語
- ・ 既存の要素

用語集は、定義されている内容が含まれる場合、自動的に認識し、リンク表示(下線表示)になります。リンクされた用語にカーソルをあてると、その意味がポップアップして表示されます。

また、リンクされた要素は、クイックメニューが表示され要素のプロパティや位置を表示することができます。リンクはドラッグ&ドロップや右クリックで追加できます。



また、ノート欄(やその他の編集欄)で文字列を選択して右クリックすることで、用語や要素の作成を行うことができるようになりました。

ワークフロー機能の追加

要素のプロパティ画面にある項目のうち、バージョン・フェーズ・状態を変更した際に独自の処理を追加できる「ワークフロー」の機能が追加されました。

この機能により、「状態の変更を特定の人のみ限定する」「状態が変更された場合にメールを送信する」「バージョンが変更された場合には別の場所に独自に保存している実装予定機能一覧を更新する」などの処理が可能になります。

ワークフローの処理については、Enterprise Architect7.5 で追加された「スクリプト」の機能を利用して実装します。つまり、Enterprise Architect の API を利用してプログラムを記述することになります。

ワークフロースクリプトを作成する場合には、テンプレートが利用できます。

スクリプト機能の改良

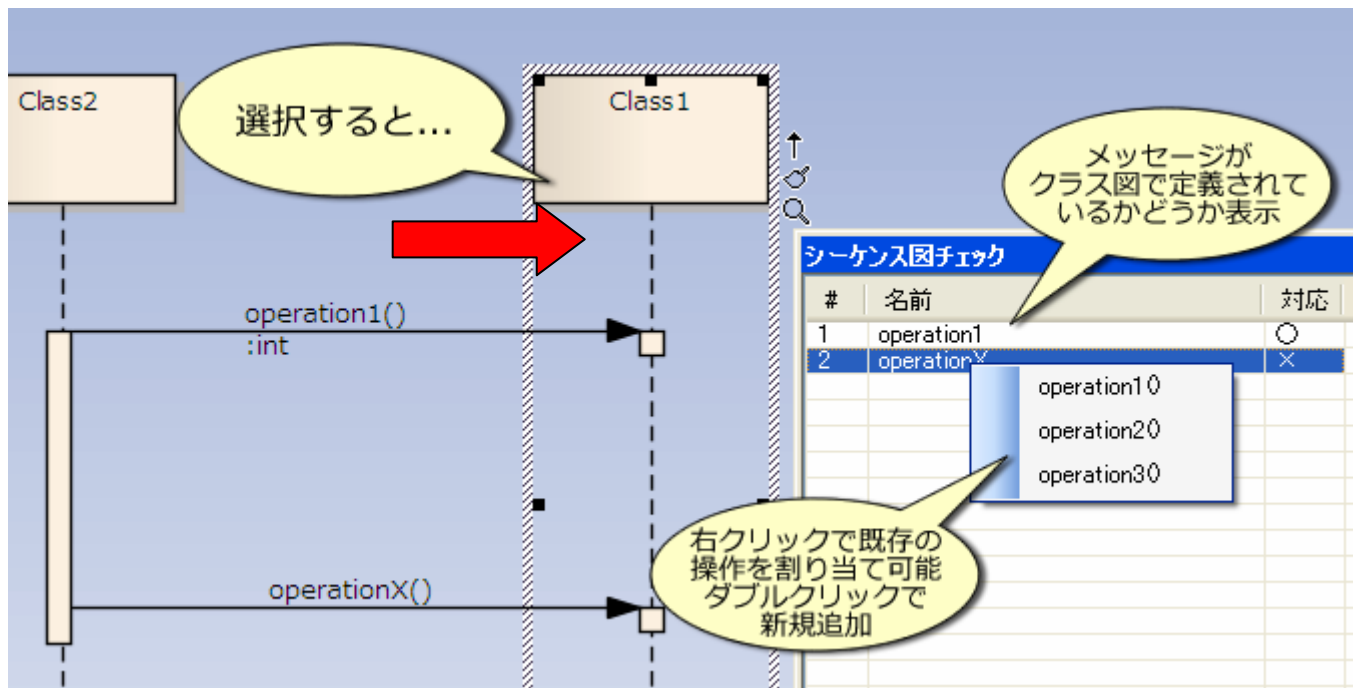
スクリプト機能を改良し、プロジェクトブラウザで対象の要素やパッケージを右クリックしてスクリプトを実行できるようになりました。これにより、指定した要素やパッケージに対する処理をスクリプトで実装できるようになりました。

また、検索の条件をスクリプトで定義し、検索を実行できるようになりました。

アドイン: 独自のサブウィンドウの作成

Enterprise Architect の標準のサブウィンドウの他に、API を利用して独自のサブウィンドウを作成できるようになりました。これにより、独自のプロパティサブウィンドウなどを作成することができるようになります。

下記の例では、独自のサブウィンドウ「シーケンス図チェック」を利用して、効率的にシーケンス図とクラス図の関係をチェック・更新することができます。



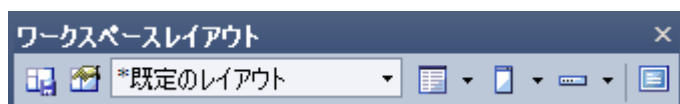
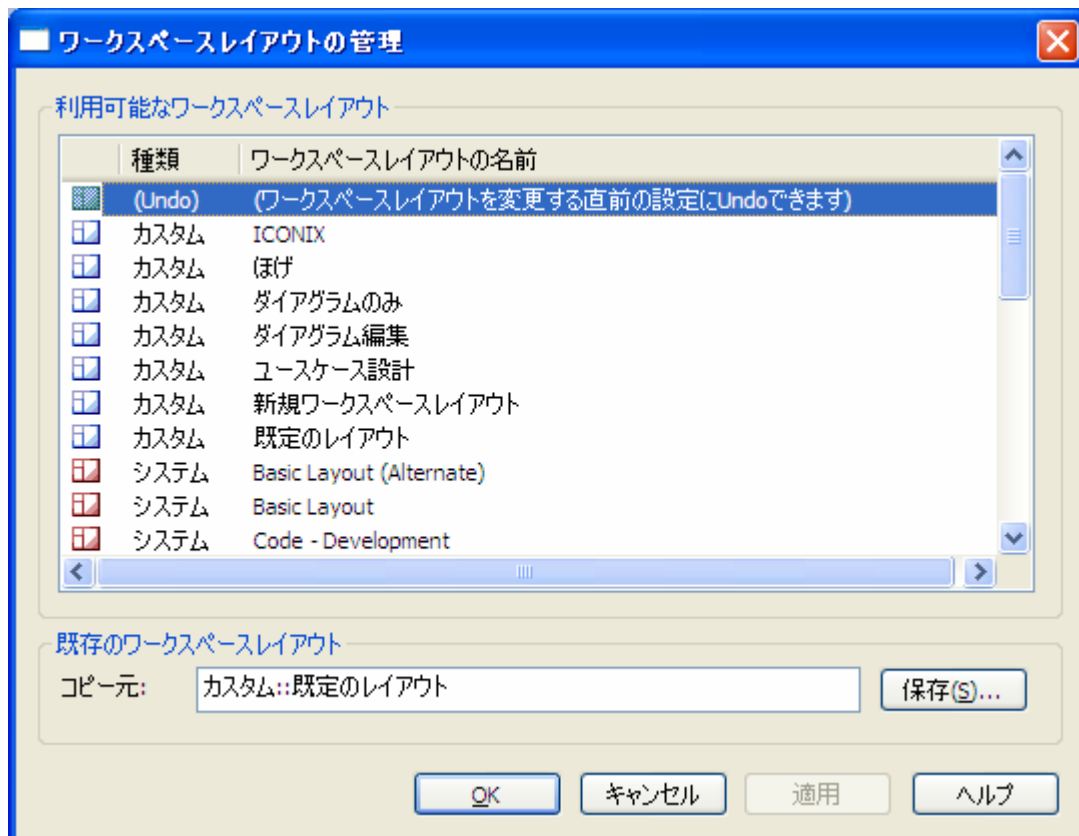
なお、選択した要素のプロパティ(の一部)を一覧形式で表示し、編集することのできるオリジナルアドインのソースコード(VB.NET)をバージョン 8.0 リリース時にサンプルとして提供します。



(VB.NET のサンプルをカスタマイズすることで、任意のプロパティを一覧に表示・編集できます。)

サブウィンドウやツールバーのレイアウトの保存

従来の「画面のレイアウト」機能を改良し、サブウィンドウやツールバーのレイアウトに名前をつけて保存することができるようになりました。保存したレイアウト設定は「ワークスペースレイアウト ツールバー」を利用して簡単に呼び出すことができます。



フローティングライセンスのサーバ改良

フローティングライセンスのサーバを改良し、Windows のサービスとして動作するようになりました。これにより、「キーファイル」が作成・利用できない環境でもフローティングライセンスが利用できるようになります。(通信方式についても変更になります。)

さらに、新形式のサーバの場合には、フローティングライセンスの利用状況をログとして保存することができます。

なお、既存の「キーファイル」方式もそのまま利用できます。

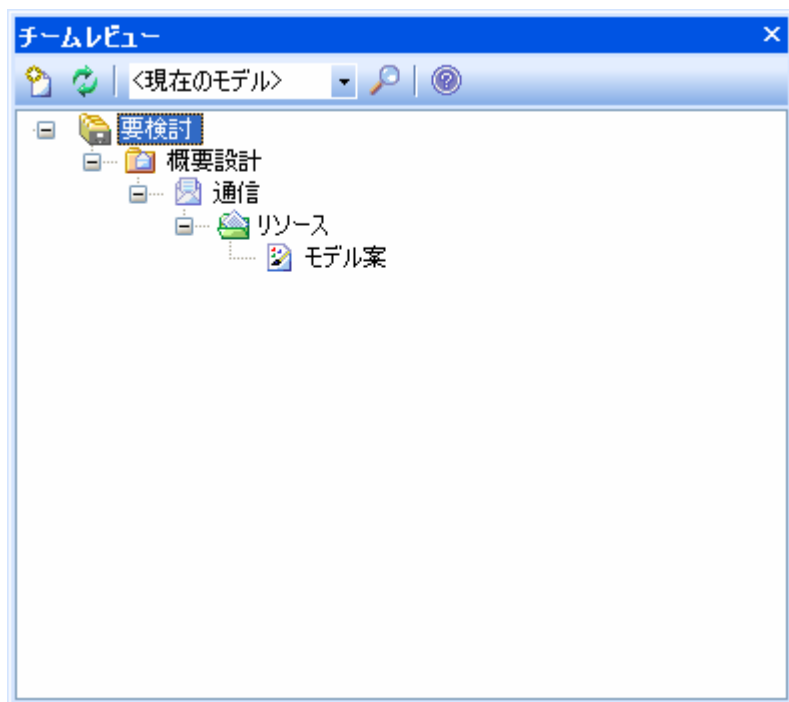
Windows7 への対応

バージョン 8.0 にて Windows7 への正式対応を行います。ユーザーアカウント制御(UAC)が有効な場合にデバッグ機能が利用できない問題や、サンプルファイルが開けない問題に対応します。

掲示板機能の強化

従来「掲示板」として提供していた機能を「チームレビュー」と名前を変更し、作成したモデルについてチームでレビューする機能として活用できるように改善しました。

従来の投稿に当たる「項目」については、「リソース」として、画像・UMLモデル・プロファイル機能の実行結果を添付できるようになりました。また、それぞれの項目に「承認」「却下」などの状態を設定できます。



その他の変更・改善点

- ✓ 起動時やさまざまな処理において、処理速度を改善しました。
- ✓ 用語集で定義できる用語で、種類を自由に変更できるようになりました。
- ✓ 要素ブラウザサブウィンドウで参照できる内容を増やしました。
- ✓ BPMN1.0 のモデルを BPMN1.1 に移行する機能を追加しました。
- ✓ MDG テクノロジー「実体関連図」を追加しました。また、既存のデータベースモデリング図と実体関連図を変換する MDA 変換ルールを追加しました。
- ✓ MDG テクノロジー「エリクソン・ペンカー図」を追加しました。
- ✓ トリガの扱いを改善し、モデル全体でトリガを共有・利用できるように改善しました。
- ✓ 複数のクラス要素を対象にまとめてインスタンス(オブジェクト)を作成する場合に、クラス間の関連をインスタンスに反映できるようになりました。
- ✓ ダイアグラム内の要素を Ctrl+X で切り取り、Ctrl+V で別のダイアグラムに移動できるようになりました。
- ✓ シーケンス図でも描画スクリプトが利用できるようになりました。
- ✓ シーケンス図で、非同期メッセージに対しても、実行仕様の延長の処理を柔軟に行うことができるように改良しました。

メニュー・ダイアログなど表示内容に関する変更点

機能について、よりわかりやすくするため、以下の変更を行いました。

対象	バージョン 7.5	バージョン 8.0
メニュー項目	パッケージのコントロール	パッケージの管理
メニュー項目	パッケージのビルドスクリプト	動作解析の設定
メニュー項目	参照をコピー	参照するための情報
メニュー項目	実行状態の設定	実行状態(スロット)の設定
メニュー項目	ビルドと実行	プログラムの動作解析
RTF ドキュメントエディタ	一覧と上書き	段落番号
〃	一覧項目	段落番号マスター
〃	一覧の上書き	段落番号
〃	一覧のレベルの編集	段落番号の詳細設定
〃	セル内の文字の方向	表の文字の方向
〃	グリッドの表示	境界を常に表示
サブウインドウ	階層構造サブウインドウ	トレーサビリティサブウインドウ
〃	役割とシナリオサブウインドウ	シナリオ・制約・要求サブウインドウ
〃	掲示板(タブとして表示)	チームレビューサブウインドウ
〃	接続サブウインドウ	接続ブラウザサブウインドウ
メニュー項目 サブウインドウ	ブレイクポイント	ブレイクポイントとマーカー
サブウインドウ	リソースビュー	リソースサブウインドウ
バージョン管理	一意の ID	設定識別 ID
バージョン管理	ブランチファイル	階層管理ファイル
セキュリティ	ユーザーID	ログイン ID
プロパティ画面	「一般」タブ	「全般」タブ

また、日本語版では、以下の項目をメインメニューから削除しました。

(メニュー階層はバージョン 7.5 でのものです。)

- ✓ 「プロジェクト」 → 「ドキュメント」 → 「テストレポート」
=RTF ドキュメントの機能で完全に代用できるため
- ✓ 「表示」 → 「その他のサブウインドウ」 → 「Web ブラウザ」
=利用されていない機能のため
- ✓ 「ツール」 → 「MDG テクノロジーの読み込み」
=利用が推奨されない機能のため
- ✓ 「プロジェクト」以下のスペルチェックに関する項目
=日本語環境では正常に動作しない機能のため

さらに、以下の内容について変更しました。

- ✓ 「表示」メニュー以下の内容を全体的に見直しました。
- ✓ グリッドに関する設定を「ダイアグラム」メニューに移動しました。
- ✓ RTF ドキュメントの出力画面で、「単語の置換」「言語設定」に関する設定項目を利用できないように変更しました。